

第12回御府内88ヶ所霊場巡り

第9日 結願

日時 平成27年11月25日(水) 雨 午前9時集合
集合場所 恵比寿公園(山手線恵比寿駅下車徒歩5分)
主催 東京都ウォーキング協会 歩行数21538歩
距離 14キロ 参加費500円 参加者69名
スタート 午前9時15分 ゴール午後1時

状況 昨夜の眠りが浅く恵比寿駅下車してもボーとしている。コーヒーで目を覚ますべくスターバックスに入る。目下コーヒーでは一番評判の良い店である。一杯飲むとレシートによりどのスターバックスの店に入っても二杯目は100円で飲める。コーヒー愛好家には結果として2杯飲むと安くなる仕組みが受けてつい最近では鳥取市に開店し日本全国どの都道府県にも存在している。曇り空の中、恵比寿公園にはぎりぎり到着した。今日は今年の結願日であり、一年間同行80人の仲間と歩き始める。早速小雨が降り始めた。天気予報では午後からは雨の予報が早くも空から嫌なものが降り始めた。小雨、霧雨程度であり傘は差さず歩く。

この時間帯はサラリーマン、学生が通勤通学タイムであり電車も混む、恵比寿の街も行きかう人が多い。明治通りを横切り7番札所室泉寺に到着した。最近足底腱膜炎とかで整形外科通いをしているが足底に電流を流し治療をしている。3週間目に入るが効果はあまりない。今日も少々痛む。根が鈍感なので気にならないが足の重さを感じるのが異常である。

室泉寺に入る。石段を上がり山門を通り境内に入る。左に曲がった地点に本堂がある。曲がり角のモミジが紅葉して輝く。源秀山永松院室泉寺が正式名称である。この寺は当初は浄土真宗西本願寺派の寺院として芝金杉にあったものを松平外記忠益が下屋敷を和泉神鳳寺忠興快圓比丘に寄付した際に寺蹟を譲り受け真言宗に改宗した。ここは和泉神鳳寺快圓比丘の宿寺となった。元禄14年(1701)の時であり今は高野山真言宗に属する。ここで一同般若心経を読経する。幸いにこの時点では雨はやんでいた。ここを出て再び恵比寿駅へ戻る。明治通りを横切り恵比寿駅へ近づくと本格的に雨が落ちてきた。折り畳み傘を広げるがルックカバーを付ける時間がない。このまま渋谷橋を渡り恵比寿ビヤガーデンへの坂道を歩く。しかしたちまち心臓に負担がきた。ゆっくり歩いて坂を登り切ると交差点で一息ついた。雨を避けエビスビヤゲテンプレイクの屋根付き通路に飛びこむ。ここでルックカバーをつけトイレを済ます。雨は今後降り続くはずでいささか幽鬱になる。今年は雨にも合わず絶好の観音巡りであった。雨男



7番札所室泉寺

室泉寺の紅葉

本堂前での読経

でもいるのかと考えつつ東京写真館前を通り、三田橋の手前から一気に坂を下る。恵比寿駅の南口にはアメリカ橋がある。アメリカ橋の名前は山川豊が歌謡曲で唄い、存在価値を示した。アメリカ橋は1904年アメリカで開催した万国博覧会に出展されたものを日本国鉄（JR）が買い取ったものである。アメリカのルイジアナ州はフランス領であったがナポレオンから買い取りその100周年記念万博に出展したものである。坂を下り山手線に沿って歩く。下った分は上らねばならない。目黒駅前に出る、ここを左に曲がると4番札所高福院がある。その手前には誕生八幡神社があった。この神社は文明年間に太田道灌が夫人の懐妊に伴い筑前宇佐八幡神社



4番札所高福院

誕生八難神社

銀杏の大木

を当地に勧請したのが始まりである。ここで男児が誕生したので誕生八幡神社という。今でも子宝に恵まれぬ人が詣でる神社として人気がある。明治維新の際は雉子神社の撰社となり明治42年には稲荷神社を合祀し、戦後誕生八幡神社の名称となった。本殿の脇に銀杏の樹が左右に2本あり品川区天然記念物に指定されている。銀杏の樹は今まで道路の拡張に伴い3回移植されたが枯れることなく旺盛な樹勢を保っている。その横の細い道を通り4番札所高福院に着いた。いきなり目の前に大灯籠が目に着く。高福院は高野山無量寿院の末寺である。慶安元年（1648）に阿闍梨頼順により開山した。隣接する誕生八幡神社の元の別当寺であった。神仏習合が行われていた江戸時代以前は神社を管理するため置かれた寺の事を別当寺という。神前読経など神社の祭礼は昔仏式で行われていた、その職制は別当（僧の長）と呼んだ。別当とは別に本職にあるものが他の職をも兼務する意味で寺社を司る官職である。

別当寺は本地垂迹（ほんじすいじゃく）説により神社の祭神が仏の権現であるとされた神仏習合の時代には神社はすなわち寺であるとされ神社の境内には僧坊が置かれ垂迹一体となっていた。神仏習合時代では神社で一

番権力のあるのは別当であり宮司はその下に置かれた。神仏分離令は明治4年に発令された。日本を神の国仕立てた元長州藩により1200年の歴史の寺院を廢物毀釈により破壊されたり海外へ流れたりで大きな文化損失を招いた。明治政府は殆ど長州元藩士により政治が行われ日本を神の国として欧米の水準に一気に追いつき追い越せで最後は馬鹿な戦争を起した。この寺にある大灯籠はいささか奇異に感じる。

再び高福院を出て、品川区上大崎3丁目の坂を下る。ここから五反田駅を目指した。この辺は創価学会をはじめインドネシア、マケドニア、ベラルーシ国の大使館が多い。狭い道を歩いて山手線に出た。これに沿って歩くと五反田の駅が見えた。大崎橋の手前にトイレがありここで休憩する。その前にお惣菜専門店がありこのコロッケが有名で一同別々に買い求めた。私もコロッケと玉ねぎ上げを頂き食べた。時間は11時に近くお腹がすいてきたので丁度よいおやつとなった。雨はやみそうもないが次第に1ミリ雨に変わった。天気予報では一ミリ降雨を予報しているがその方向に向かっていた。天気の具合が悪く昼食場所の浜川公園では屋根もなくこのまま最後の寺、長遠寺へ行くとコース変更があった。雨の中大崎を抜けて目黒川に沿って歩く。今度は大井町駅へ目指す。三共第一製菓の大きな工場地帯で目黒川を渡りJR京浜線、埼京線、横須賀線に沿って歩く。大井町駅前道路を横切り東大井五丁目に入った。雨は再び強く降り始めた。東大井公園でトイレへ行く人、数人を残し公園内を横切り石段を下りて下の道へと進む。26番来福寺に着いた。雨のため山門から入り本堂に一礼してここを通り抜けた。その早いのに驚く。私が入山した時には誰もいないほど早く素通りした。ここには阿波国藍商人群35基墓石が祀られる。



26番札所来福寺

来福寺本堂

阿波藍商人墓所

来福寺は海賞山、地藏院という。正暦元年(990)に智弁阿闍梨により創建されたという。文亀元年(1501)納経塚から納経や地藏が発見され納経地藏をご本尊とした。最後に何う長遠寺の末寺である。なお鎌倉時代の梶原季時一門の菩提寺でもあった。境内には天神宮があったので天神山とも呼ばれた。さらに境内には大阪屋一門35基の墓石群がある。江戸時代に阿波国は蜂須賀家が国を治め財政困難となり藍の栽培を保護奨励した。江戸に進出した大阪屋庄三郎(本名は久次米次郎)八丁堀に店を出し、藍をはじめ木材も取り扱い大店に発展した。大阪屋の菩提寺がここ来

福寺であった。ここを出て浜川公園へ行く。雨で座る場所もなく相談の結果は最後の結願寺の長遠寺で昼食を食べ読経、結願記念品を年度別配布することとなった。この地点から長遠寺までは1時間の距離である。すでに12時となっている。これから雨の中急いで長遠寺を目指した。途中モースが発見した大森貝塚前を通り山王口交差点を通る。弁当のない人はこのコンビニで弁当を買った。このため私が一番最後となった。森本役員には迷惑をおかけした。次第に足が重くなり早く歩けない。やはり83歳過ぎるところまで体力が落ちるのかと嘆く。転倒を避けてゆっくり歩くので余計遅れる。何とか長遠寺には大きな差がなく追いついた。長遠寺は毎回結願寺としてここで記念品の配布簡単な打ち上げ式が行われる。雨のため濡れた傘、ルックなど入り口付近は混雑していた。本堂に上がる。



大森貝塚公園入口



26番札所長遠寺入口

すでに先着組は座って待っておられた。住職が現れ般若心経をあげる。さすが住職の声はよく通り、腹から声が出ている。終わって本堂の裏側に秘宝がある。十一面観音像である。これは清水寺方式とか住職が説明いただく、観音像の左手の指が特色あるそうだ。この観音像は元は目黒行人坂にあった光雲寺の本尊であった。神亀元年(724)行基の作といわれる。光雲寺は明治初年の神仏分離令で廃寺となったがご本尊は長遠寺に収まった。長遠寺は海岳山大乗院といい有尊上人が馬込邑宇堂寺の地に天仁元年<1108>草創した。文亀2年(1502)当地に移転し快慶法印が元禄年間に中興し檀林寺格としたといわれる。この寺は明治維新前まで馬込不動、馬込八幡神社、湯殿神社の別当を行っていた。

住職の説明が終わり狭い本堂で食事をする。役員の説明では唐紙の向こうは最近ここの住職の父がなくなり遺体を喪に伏し安置されているそうだ。このため狭い場所に参加者全員が集まる。身動きできない中で表彰式が始まった。今年は1年目の完全歩行者が15名もおられた。我々のグループでは高野、成田、三森の三人が1年目で写真入り写真立てを頂く。私は桜の花模様のバンダナを頂く(4年目である)終わって一同で五反田へ出てサイゼリアでワインとコーヒーケーキで反省会を開く。

会費800円で済む。午後3時に解散した。この一年も無事に怪我なく、病もなくなんとなく皆さんについて行けたことを感謝したい。最後に来年度の募集もありサインをした。しかしこの体調で来年も歩けるのかいささか不安である。心臓をだましだまし歩くほかない。初志貫徹で来年も頑張っ
て参加したい。私の家は先祖代々真宗高田派であり、目下は法華経を信じて朝夕法華経を一時間上げている。大慈会教団であり本当の宗教といえる。寺もない須弥壇もない仏像もない僧侶もない。ひたすら先祖供養と親孝行をモットーとして多くの仲間を増やす教団である。ご府内88ヶ所霊場巡りは毎月第4水曜日に行われるのでウォーキングが第一目標、第2は真言宗の寺院はどこも信者、檀家がよいのでこの雰囲気が好きだ。四季の折々の花、樹木、境内の環境が心を慰める。癒しのウォーキングで来年も挑戦したい。